

平成30年度第15回定例会

八王子市教育委員会議事録（公開）

日	時	平成30年12月12日（水）	午前9時30分
場	所	八王子市役所 議会棟4階	第3・第4委員会室

第 1 5 回定例会議事日程

1 日 時 平成 3 0 年 1 2 月 1 2 日 (水) 午前 9 時 3 0 分

2 場 所 八王子市役所 議会棟 4 階 第 3 ・ 第 4 委員会室

3 会議に付すべき事件

第 1 第 4 8 号議案 八王子市姫木平自然の家の指定管理者の指定に関する議案の調製依頼について

第 2 第 4 9 号議案 八王子市都市公園条例の一部を改正する条例の設定依頼について

第 3 第 5 0 号議案 八王子市総合体育館条例の一部を改正する条例の設定依頼について

第 4 第 5 1 号議案 八王子市体育館条例の一部を改正する条例の設定依頼について

第 5 第 5 2 号議案 八王子市運動場条例の一部を改正する条例の設定依頼について

第 6 第 5 3 号議案 八王子市図書館条例の一部を改正する条例の設定依頼について

4 報告事項

- ・ 八王子市立小中学校合同作品展第 1 4 回「おおるり展」の開催について
(指導課)
- ・ 平成 3 0 年度指導力パワーアップ研修等の教員研修の実施状況について
(指導課)
- ・ 市立中学校生徒に係る事故への対応状況について
(指導課)
- ・ 平成 3 0 年度八王子「宇宙の学校」の実施結果について (こども科学館)
- ・ 平成 3 0 年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果
について (図書館部)

出席者

教 育 長	安 間 英 潮
教育長職務代理者	村 松 直 和
委 員	柴 田 彩 千 子
委 員	笠 原 麻 里
委 員	伊 東 哲

教育委員会事務局出席者

学 校 教 育 部 長	設 樂 恵
学校教育部指導担当部長	斉 藤 郁 央
学校給食施設整備担当課長	小 林 順 一
教 育 総 務 課 長	渡 邊 聡
学 校 教 育 政 策 課 長	橋 本 盛 重
学校複合施設整備課長	内 野 茂 樹
施 設 管 理 課 長	松 土 和 広
保 健 給 食 課 長	田 倉 洋 一
教 育 支 援 課 長	穴 井 由 美 子
指 導 課 長	中 村 東 洋 治
教 職 員 課 長	溝 部 和 祐
統 括 指 導 主 事	野 村 洋 介
統 括 指 導 主 事	上 野 和 広
生涯学習スポーツ部長	瀬 尾 和 子
歴史文化構想担当課長	平 塚 裕 之
生涯学習政策課長	岡 本 洋
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	清 水 秀 樹
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 課 長	佐 藤 晴 久
学 習 支 援 課 長	浅 岡 秀 夫
文 化 財 課 長	中 野 み どり
こ ども 科 学 館 長	遠 藤 讓 一

図 書 館 部 長	石 黒 みどり
中 央 図 書 館 長	太 田 浩 市
生涯学習センター図書館長	新 納 泰 隆
南 大 沢 図 書 館 長	安 達 和 之
川 口 図 書 館 長	成 田 俊 雄
指 導 課 指 導 主 事	高 木 紘二郎
指 導 課 指 導 主 事	星 野 正 人
指 導 課 主 査	金 子 江理子
生涯学習政策課主査	塩 澤 宏 幸
こども科学館主査	小 山 豊
川 口 図 書 館 主 査	古 武 成 浩
教 育 総 務 課 主 査	堀 川 悟
教 育 総 務 課 主 任	飯 田 知 子
教 育 総 務 課 主 事	小 山 ちはる
教 育 総 務 課 嘱 託 員	古瀬村 温 美

【午前9時30分開会】

安間教育長 おはようございます。大変お待たせをしました。本日の出席は5名でございますので、本日の委員会は有効に成立をいたしました。

これより、平成30年度15回定例会を開会いたします。

本市では、地球温暖化対策、省資源対策の一環として、節電等に取り組んでおります。本定例会においても、照明の一部消灯を実施いたしておりますので、御理解いただきますよう、お願いいたします。

本日の議事録署名委員の指名をいたします。本日の議事録署名委員は、笠原麻里委員を指名いたします。よろしくをお願いいたします。

また、本日の議事でございますが、第49号議案から第53号議案については、未だ意思形成過程のため、報告事項「市立中学校生徒に係る事故への対応状況について」は審議内容が個人情報に及ぶため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 御異議ないものと認めます。

安間教育長 それでは、議事を進行いたします。日程第1、第48号議案 八王子市 姫木平自然の家の指定管理者の指定に関する議案の調製依頼についてを議題に供します。本案について、生涯学習政策課から説明願います。

岡本生涯学習政策課長 それでは、八王子市姫木平自然の家の指定管理者の指定に関する議案の調製依頼についてですが、現在の指定管理期間が平成31年3月31日で満了することから、ここで議案の調製を依頼するものです。詳細につきましては、生涯学習政策課主査、塩澤から説明いたします。

塩澤生涯学習政策課主査 それでは説明します。まず初めに、教育に関する事務について市議会の議案を調整する場合は、市長は教育委員会の意見を聞かなければならないという規定が地方教育行政の組織運営に関する法律第29条にありますので、本件の審議では、意思決定及び市長への依頼をあわせて教育委員会としての意見をいただき、本件を市長に提出する際には、頂戴した意見を添えて提出することとし

ます。

なお、市議会の議案を調整する段階で、文言はより適したものに修正される可能性があります。内容自体は変わるものではないことを申し添えます。

八王子市姫木平自然の家については、八王子市姫木平自然の家条例第15条で自然の家の管理は指定管理者に行わせる、第17条で教育委員会はもっとも適当であると認めるものを選定し、議会の議決を経て指定管理者に指定すると定めています。

現行の指定管理者の指定期間が平成31年3月で満了することから、新たな指定管理者の選定を行い、その結果を受けて八王子市姫木平自然の家の指定管理者を株式会社、長和町振興公社に指定する議案の調製を依頼するものです。

それでは、議案関連の1ページを御覧ください。2、指定管理者の候補は長野県の株式会社、長和町振興公社。3、指定期間は、平成31年4月1日から、平成34年、西暦2022年、3月31日までの3年間です。続きまして、4、選定基準ですが、八王子市指定管理者制度導入に向けた基本方針その2に基づき、(1)から(7)までの7項目を選定基準としました。

続いて、5、選定経過についてです。平成28年度以降、自然の家のあり方について、検討しているため、選定は一者特命としています。平成30年10月5日に八王子市姫木平自然の家、指定管理者候補者選定のための評価会議を設置し、第一次選考及び、第二次選考を行いました。

まず、第一次選考では、八王子市姫木平自然の家、指定管理者候補者の選考に関する実施要領、第2条及び第3条に基づき、事務局により応募書類の審査を行いました。その後、11月14日に第二次選考として、税理士や学識経験者などで構成された評価会議を開催し、評価を行いました。

裏面になります。6、評価ですが、評価会議委員8名が150点の持ち点で採点をし、1200満点中963点の高い評価を受けました。

この結果、基準である全ての項目で6割を超える点数を獲得しましたので、株式会社、長和町振興公社を指定管理者の候補者として、選定したところです。説明は以上です。

安間教育長 只今、生涯学習政策課からの説明は終わりました。本案について、まず御質疑はございませんか。

それでは、私のほうから2点。まず1つは、指定管理者をここで指定するという
ことで、本市の小・中学校の移動教室に関してはもう十分対応が可能だということ
が前提になっているということで、まずよろしいですか。

塩澤生涯学習政策課主査

今回の評価会議の中におきましては、小・中学校長が評価会議のメンバーに入っ
ておりました。その中でも、やはり移動教室に関する対応ということで、候補者の
ほうに質問がございました。指定管理者からは、これまでどおり十分対応が可能だ
ということをお願いしております。ただし、学校側としましては、緊急時の対応、
特に冬場のインフルエンザ等が流行る時期の病院への搬送といったところについま
して、若干不安な要素があるといったところで、そういったところをさらなる対応
を求めるといような意見をいただいております。その部分につきましては、次期
指定管理期間におきまして、十分調整を図っていきたいと考えております。

安間教育長 具体的な対応策も、もう提案をされたのですか。

塩澤生涯学習政策課主査 冬場におきましては、近隣にブランシュたかやまスキー場
があります。こちらのスキー場は、姫木平自然の家と同様、長和町振興公社が運営
を行っております。こちらのほうに職員が冬場に関しては、常駐しておりまして、
スキー場の車を利用して病院に搬送するという対応をするということで、報告を受
けております。

安間教育長 冬だけではないのでね。ぜひ、そこら辺の事故対応についても、お願い
をしておいてください。

もう1点、大きな話として、これもひっくるめて姫木平自然の家があるから、そ
こに行くんだということではなくて、指導課のほうで小・中学校の移動教室につい
ては、また別途検討してもらっているんですね。

中村指導課長 これから、検討会のほうを立ち上げておりますので、その中で、そ
こについては検討していきたいと思っております。

安間教育長 ぜひ、八王子市の全ての子どもたちが経験する移動教室というそういう
コンセプトがあるわけですから、一般的なことではなくて、八王子の子どもたちは
みんなこれを経験すると、そんな良いプランを立ててください。

他に御質疑はございませんか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、本案についての御意見を伺いたいと思います。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　それでは、御意見もないようでございますので、お諮りをいたします。
只今、議題となっております第48号議案については、提案のとおり決定することに御意義ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　御異議ないものと認めます。

よって、第48号議案については、そのように決定することにいたしました。

安間教育長　続いて、報告事項となります。指導課から続けて2件、報告をお願いします。

中村指導課長　八王子市立小中学校合同作品展第14回「おおるり展」の開催につきまして、担当の金子主査からご報告いたします。

金子指導課主査　平成30年度八王子市立小中学校合同作品展第14回「おおるり展」につきまして、配布しております資料にそって、御説明させていただきます。
はじめに1の目的ですが(1)児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。(2)小学校・中学校が合同で作品展を行い、広く市民に鑑賞の機会を設けることで、小・中学校9年間を見通した教育活動についての理解・協力を求める、としております。

次に、2の主催等についてでございます。主催は、八王子市教育委員会、八王子市公立小学校長会、八王子市立中学校長会でございます。主管は、八王子市小学校教育研究会、書写部・図工部・家庭科部と、八王子市中学校教育研究協議会、美術部でございます。これらの各部が中心となって、ポスターや会場図の作成を行っていただいております。また、作品の搬入・搬出、展示なども行っていただきます。
後援は、八王子市立小学校PTA連合会、八王子市立中学校PTA連合会でございます。PTA連合会の皆様には、毎年度会場での受付やアンケートの回収、誘導などのお手伝いをいただいております。今年度もお手伝いをお願いさせていただいております。

ます。また、小学校 P T A 連合会では、川柳コンクールで選ばれた川柳を、中学校 P T A 連合会では、科学コンクールで選ばれた研究発表の展示も行っております。

3、会場および開催日時です。会場は、今年度もエスフォルタアリーナ八王子 1 階の多目的室及び会議室を使って行います。開催日時は平成 3 1 年 1 月 1 7 日（木）から 2 1 日（月）、時間は午前 1 0 時から午後 8 時、最終日は午後 3 時 3 0 分までとさせていただきます。

4、出品校は小学校 7 0 校中学校 3 8 校で、これは毎年度と変わりございません。また、広く市民の方にお知らせするために、全市立小中学校、市役所本庁舎や図書館、市民センターなどの公共施設、はちバス、市内の商店会にポスターの掲示を依頼し、ホームページのお知らせや八王子北口駅前に設置してあります河川情報表示板でも周知に努めているところでございます。また、今年度は京王電鉄株式会社様にもご協力をいただき、京王線の駅構内へのポスター掲示も依頼させております。今年度のポスターは報告資料 2 ページ目に添付してございます。報告資料 3 ページ目に来場者アンケートを添付させていただきます。昨年度までは御意見やご要望を記入していただくための記入欄を設けておりましたが、記入のしやすさや、集計結果の分かりやすさなどを考え、今年度より記入方法を変更させていただきます。内容につきまして、御意見をいただければと思います。

また、今年度は、生涯学習スポーツ部とも連携し、パネル展を行う予定でございます。中学校体育連盟剣道部が 1 2 月 2 6 日から 1 2 月 2 9 日に台湾の高雄市を訪問する青少年海外交流事業のパネル展でございます。多くの皆様の御協力と連携により開催いたします「おおるり展」に、教育委員の皆様にも御来場いただき御感想をお聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。報告は以上でございます。

安間教育長 只今、指導課からの報告は終わりました。本件について御質疑はございませんか。

伊東委員 御説明ありがとうございました。こういった取組がずっと続くことを期待しておりますけれども、1 点ちょっと質問させていただきたいのですが、この小中学校の合同作品展には特別支援学級の子もたちの作品の中で、特に何か代表的なものをボードで展示しているとかそういうことはないのでしょうか。

金子指導課主査 特別支援学級の生徒さんの作品については、展示は特にしておりません。

伊東委員 特別支援学級の合同作品展とかあるんだと思うんですけども、東京都教育委員会でも特別支援学級とか特別支援学校の子どもたちの作品を、アートプロジェクト展ということで、青山のほうで毎年やっているんですけども、大変優秀な作品が多くて、特別支援学級の中のお子さんの中でも、非常に才能にあふれ、非常に芸術性の高い作品を作成する児童・生徒もいるかもしれませんので、もし、機会があって特別支援学級の先生方とも合同でこういったものが開催できるようなことが今後、もしできるようになると、また、こういったところから共同共生社会の実現といたしますか、そういったことも可能ではないかなというふうに思っておりました。もし、そういった方向で御検討ができればありがたいかなということで、お話をさせていただきます。

安間教育長 委員、申し訳ございません。指導課長、補足をお願いします。

中村指導課長 伊東委員、申し訳ございません。学校のほうで通常学級と特別支援学級と、その分け隔てなく学校のほうから選んでいただきまして、その中に通常学級の子どもの作品と、特別支援学級の子どもの作品が合わせて飾ってありますので、ですから、展示はされております。訂正させていただきます。すみません。

安間教育長 ただ、伊東委員の御発言はそこに特化したものがあたっていいんじゃないかというお話ですから、そこは検討の余地があるかなと思いますから、事務局のほうで、考えてみてください。

他にございましょうか。

村松委員 おおるり展は、指導課さんのほうでは何人ぐらいでチームを組んでお手伝いというか、開催期間中いらっしゃるんでしょうか。

金子指導課主査 指導課の職員ということだと、指導課の職員は11名おりますので、その職員全てがローテーションを組みまして、あとは、学校教育部の他課、生涯学習スポーツ部にも今年度はお手伝いをお願いしております、1週間に渡りまして、1日あたり平均5、6名で体制をとっております。

村松委員 このおおるり展、大変多くの保護者の方、また小P、中PのPTAの本部役員さんがたくさん手伝いに来てくださいます。昨年も伝えたと思うんですが、特

に指導課の皆さんは教育委員会の顔になりますので、忙しいとは思いますが、ちょっとお話をさせていただいたり、また生涯学習スポーツ部の皆さんもそうですけれども、こういう時にこそ、地域、またPTAの皆さんと話す良い機会であると思いますので、ぜひ交流を深めて、いろいろと意見を聞いていただいたりできれば、向こうのほうもそれを待っていると思いますので、よろしく願いいたします。

あと、ごめんなさい続けて意見になってしまいます。アンケート、これは良いと思います。1枚別で来場者の方に書いていただくとかかなりのスペースがあって、皆さん一生懸命書いていただいて、こんなに書くのかなと書いている方もいらっしゃいましたので、このくらいが多分、一番良いんじゃないかと思います。以上です。

安間教育長 ありがとうございます。ほかにございましょうか。

柴田委員 1点、お伺いしたいんですけれども、おおり展について近隣の学校の児童・生徒の例えば、図工や美術の時間に見学に来る、先生が引率して見学に来るとかそういう取組というのはあるのでしょうか。

金子指導課主査 開催期間中に特定の学校の生徒さんが先生に引率されて、見学にいらっしゃるということはありません。平日ですと、夜の時間帯に保護者の方といらっしゃるったり、あとは土日の開催期間にやはり保護者の方といらっしゃるということが多いかと思います。

ただ、近隣の介護施設の方などが、ヘルパーの方に付き添われて、昼間の比較的すいている時間に見学にいらっしゃるケースがございます。

柴田委員 ありがとうございます。今回、台湾の高雄市のパネル展も併設されるということですし、児童や生徒にとってはこういう機会が他校との良い交流の機会になると思います。他校の児童・生徒の作品を通して、視野を広げるとか、八王子の地域性を感じるというような機会になると思いますので、なるべく近隣、八王子は広いので、近隣の学校の先生には引率して、子どもたちがこういったものを目に触れる機会を増やすべきということや、それから、なるべく保護者の方にもお子さんを連れてきていただきたいというふうに思いますので、その辺の対応をよろしく願います。

安間教育長 よろしゅうございましょうか。他にございましょうか。

さっそく、教育委員会で議論した台湾高雄市との交流のパネル展、課が横断して

協力できるというのは、私は素晴らしいと思いますよ。ぜひ、これからも一体となって、横ぐしを刺して、連携してやってください。よろしゅうございますね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長　　それでは、報告として承らせていただきたいというふうに思います。

安間教育長　　引き続き、指導課から報告をお願いします。

上野統括指導主事　　平成30年度指導力パワーアップ研修等の教員研修の実施状況について、御報告いたします。詳細は担当の星野指導主事から説明いたします。

星野指導主事　　それでは、配布いたしました資料に基づいて、御説明いたします。

配布した資料を御覧ください。説明する研修については、指導力パワーアップ研修及び産休・育休取得中教員の研修、産休・育休、代替教員、時間講師等の研修、サテライト研修の3点となります。

はじめに、1点目の指導力パワーアップ研修、産休・育休取得中教員研修の実施状況についてです。指導力パワーアップ研修は、指導課が主催する指導課企画の研修と、学校が主催する学校企画研修があり、実施時期や講座数、受講人数は資料にまとめた通りでございます。平成30年度の指導力パワーアップ研修において工夫した点については、こちらの吹き出しの中にまとめてある3点についてです。

1点目は、指導課企画の教科等研修において、教員が新学習指導要領の主旨を理解し、授業改善に生かせるように教科調査官等の学習指導要領作成に関わった講師を招聘したことです。

2点目は、指導課の教育課題等研修において、教員が新たに求められる指導力が身につくように、大学と連携し実践的な講座を企画したことです。具体的にはプログラミング教育ということが言われている中で、教員がプログラミングを実際に行って、ロボットを動かすというような体験をし、コンピューターに意図した処理を行わせるために、必要な論理的な思考というようなものが、どういうものかということを考えられるようにいたしました。また、英語教育というものが、また今後大切になってくるという中で、教員の英語力の向上ということを目標に外国人の講師とオールイングリッシュで会話ができるというような講座の設定ということもしました。

3点目、これはちょっと内容とはまた少し違うんですけども、研修の申し込みの事務作業ということが今まで、副校長先生にかなり広大な作業がわいたということで、その削減を図るということで、インターネットを通じた申し込みシステムというようなことを、投入をいたしました。指導力パワーアップ研修の学びの活用としてはそのあと矢印の下に示したところです。学校のほうでは、学校で短い時間を設定して、校内の教員に還元研修を実施しているというような取組、また、新教育課程、教科等検討部会の部員が基礎研究の一環として、この研修で学んだことを部会の研究推進に活用しているという取組、また、個々が非常に大切だと思っております。日々の授業において、研修で学んだことを授業に実際に取り入れて、先生方が授業改善につなげているというような取組みがあるということで、指導主事も実際に見たりとか、校長から聞き取りということで、各学校では、このように研修で学んだことを活用しております。新学習指導要領の全面実施に向けた授業改善は大切な取組なため、今後も各学校の取組の進捗状況等確認して、指導助言をしてまいります。

今後の方向性についてですが、指導力パワーアップ研修を授業力向上研修と改めて、授業研究をメインにした研修を実施してまいります。具体的には平成31年度は新教育課程教科等検討部会の部員が提案、師範授業を実施する予定にしております。小学校、中学校のすべての教員が受講できるようにするために、小学校、中学校の13部会が、複数回授業を実施し、その日を教員の研修日といたします。受講する教員は自分が受講したい教科等がある日に研修を申し込み、研修を受講することとなります。また、実際に全ての教員が授業を見られるということが大切になってくるので、ただ、会場の都合でなかなか参加できないという教員もいるので、実際に授業に様子を録画し、研修に参加できなかった教員がみたり、その他の機会にて活用したりというようなことをしてまいりたいと考えております。

(2)の産休・育休取得中教員の研修についてでございます。指導力パワーアップ研修の指導課企画の講座の一部において実施をいたしました。平成30年度はこの研修に参加した教員が倍増しまして、受講者の感想からも、本研修を実施する重要性が再確認できたところでございます。今後の方向性については、学期中に開催する教育課題に関する研修等を産休・育休取得中教員が参加できる講座というよう

に増やしてまいりたいと考えております。

続いて、資料の右側2点目の産休・育休代替教員、時間講師等を対象とした研修の実施状況についてです。この研修は、平成30年度新規に実施した研修です。学校からおおむね教員歴が2年未満で教員としての指導の基礎・基本をしっかりと学びたいと希望するものを対象に実施をいたしました。研修は6回実施し、延べ44名の教員が受講しました。研修では、すぐに実践ができるようにという視点から、授業づくりの演習や子どもと関わり方、学級経営について受講者が悩んでいることや、知りたいことを中心に実施してまいりました。今後の方向としましては、授業づくりに関する内容に重点をおいて、学校の要請を受けて、指導主事が受講者の授業観察をした後に、指導助言を受ける、行うというふうに充実を図ってまいりたいと考えております。

最後の3点目のサテライト研修の実施状況についてでございます。この研修は、教員の働き方改革の一環として、出張時間の短縮を図るための取り組みでございます。平成30年度は、校長、副校長、業務主任を対象とした研修において、教育センターをメイン会場にサテライト会場を4校設定して、実施をしております。受講者からは移動時間の短縮により、学校で自分の仕事ができる時間が確保できたという感想を多く得ることができました。今後の方向性として、先ほど説明した授業力向上研修の授業の様子を各学校にも配信すると、サテライトの活用を工夫してまいりたいと考えております。私からの説明は以上です。

安間教育長　　只今、指導課からの報告は終わりました。本件について、御質疑がございませんか。

伊東委員　　御説明ありがとうございました。今、おおむね4つぐらいでしょうか、御説明いただきましたけれども、どの研修も大変重要で意義があるものだというふうに考えております。特に、産休・育休代替教員、時間講師等を対象とした研修、これは今まで、東京都でも中々できていなかった部分です。また、同じ新人教員でもこういった非正規職員への研修というのが中々できていないところを、同じ教壇に立つ立場の先生方、正規であろうと、非正規であろうと、研修をしていただけるといのは、大変重要なかと考えております。そういった上でちょっとお伺いしたいと思っておりますけれども、特にパワーアップ研修などは、八王子市の全ての教員研修体

系の中ではどういう位置付けなのか、そして、以前と比べてどの程度こういったものが拡充したのかというものが少し見えると、こういった取組の評価というものがしやすいかなというふうに思っております。今、単体で御説明いただいているんですけども、できればそういった見せ方として、どう拡充したのかということをもう少し、私としてはPRしていただけるとありがたいかなという意味でお話をさせていただきましたので、その辺が分かれば、ちょっとお聞きしたいということです。

星野指導課指導主事 ありがとうございます。今回、単体の見せ方ということで、申し訳ありません。今、指導課のほうでも、研修については、研修体系の策定を毎年見直して作っております、そののところにもパワーアップ研修の位置付けというものはしっかりとされておりまして、実際そのあとでしっかりと提示をして、この各それぞれの研修というようなところを、ご報告するというようなところで、やっていくというようなところがすごく大切だなということが感じられました。そのように今後報告の時にはしていきたいと思えます。

安間教育長 よろしいですか、体系を見直す時にこれだけ充実させたり、新規を入れたりしているんですから、そこを毎年改善して、5月ぐらいに、いつも報告しましたよね。来年はその時期にちゃんと提示できるようにしましょう。

柴田委員 2点、質問がございます。まずは、指導力パワーアップ研修のほうの校内での還元研修の実施というところなんです、この還元研修というのは、こういった形で確保があってやるんですかというのが1つ目の質問です。学校によっては、先生方もお忙しいと思えますので、代表の方が研修に行って、その方が各講座に行って、それを他の先生方にどういう形で還元するのかということで、例えば、職員室にプリントを作成したりして、誰でも見られるようにするとか、いろんな工夫があるんだろうと思えますが、その辺の方向につきまして、教えていただきたいと思います。

あと2点目は、拡充されている産休・育休取得中教員を対象とした研修についてなんです、受講者数も増えて、充実してきたようだなによりだと思えます。この中で参加した教員の男女比なんです、男性の方もいらっしゃるのでしょうかということをお伺いしたいと思います。

星野指導課指導主事 1点目の還元研修のやり方についてなんですけれども、こちらは学期中に行ったというところがありまして、ただ、学校としては新しい学習指導要領の先ほど御説明をした教科調査官と講師で呼んでいるので、ただ全員はやはり参加させられないということだったので、学校によっては、例えば、13講座あるんですけれども、そこにまんべんなく教員を行かせて、その教員が学校に戻ってきて、実際、本当にわずかな15分とか20分の時間のところで、例えば、夕会とかやっている学校があれば、そのところで、その教員が資料をもとに先生方にこういうところが大切ですよ、というようなところを周知をしていったというような取組が実際にありますということです。

2点目の産育休中なんですけれども、現在、このところで全て女性の教員が受講したということになっております。

村松委員 産休・育休取得中教員を対象とした研修について、平成29年度実施講座が2講座で去年やっていましたけれども、30年度実施講座6講座になりましたが、この6講座って具体的にどういうのをやっているのかちょっと教えてください。

それともう1つ、サテライト研修の実施状況についてですが、この八王子市全体を通して映像通信の設備等のこういうものはどれくらい設備が充実しているのかをちょっと教えていただきたいのですが。

星野指導課指導主事 1点目の産休・育休取得中教員の6講座についてなんですけれども、こちらのほうが、先ほど言ったパワーアップ研修の指導課の教科等研修のところに載ってまして、実際になるべく小学校、中学校の先生方が共通で取れるものなるべく多くしています。具体的には小学校の国語、小学校の社会、小学校の外国語、あと道徳、総合的な学習の時間、小中学校で特別活動、中学校の国語というようなものを実施し、中学校の教員に対しては7講座を設定したんですけれども、実際の受講は中学校はなかったなので、実際にこの6講座という形になります。設備の件についてなんですけれども、今、実際のところ、サテライト研修を行えるというようなところの設備としては、しっかりと今回のところで、配信等もできているので、4校の会場というようなところの設備としては、十分ではあると考えてはいますけれども、今後、サテライト会場をさらに増やしていきたいといった場合については、またさらに設備の備品とか拡充というようなところが、必要になってくるかと考え

ているところです。

村松委員 ありがとうございます。時間がない中で先生方が、こうしたサテライトで研修ができるというのは良い取組だと思うんですが、それともう1つ、同じ学校で、同じ地域で、同じ2年目とか3年目というそういった先生が集まるといった時に、また悩みだとかを話をできるというようなのも、研修の醍醐味というか、いろんな共通点が見つかると思うんですが、そういう人と人のふれあいまいたいなのも大切なことだと思いますので、その辺もバランスを考えて、設備をこれからまた拡充していただきたいなと思いますので、しっかり研修だとか、サテライト研修だとかをどんどんやっていただければ良いと思いますので、そのへんはバランスを考えていただければなと思います。以上です。

安間教育長 2年次研修や3年次研修の御説明をお願いします。

星野指導課指導主事 2年次3年次研修の取組のところについては、サテライトで実際の実施を年次研修でやっていくというところなんですけれども、確かに初任者、2・3年次と、あと中堅教員というようなところが年次研修というのがあるところなんですけれども、やはりサテライトで実施をしたところで、委員がおっしゃる通り、実際に聞いたりというようなところもあるし、実際に生の先生から聞いてみたいというような事項もあるし、やっぱりその研修のどういうところでやるかというのは、やっぱりすごく必要だなと思っているので、やっぱり、その年次研修というようなところも、広げていくというような視野はあるんですけれども、その際にやっぱり、サテライトを使う効果的なところの研修の内容というようなところはやっぱりしっかりと精査をして、実施をしていきたいなというふうに考えております。

安間教育長 今の御指摘は2年目3年目の教員の独特の悩みなんかもあって、それはこの知識伝達のサテライトでは、解決しないんじゃないかという御指摘ですから。それは、ちょっと1回受け止めてみて考えてください。ある程度の年次もバラバラで、それぞれが指導技術を学びたいというならば効果的なんだろうけれども、同じ初任者で、ずっと宿泊までやって仲間になった。じゃあ2年目3年目になって、また新たな悩みが出てきた、そこら辺の御指摘ですからね。ちょっとそこは1回受け止めてみてください。

他にございましょうか。よろしゅうございますか。

では、私のほうから4つ。まず、1つは教科調査官との講演会というので、中々許可が出ないのかもしれないけれども、これは録画することはできないのですかね。

星野指導課指導主事　できれば、プレゼンテーション資料を持ってきていただくので、それをいただければ、各学校の共有ドライブに入れるというようなことも交渉はしたんですけれども、やはり、難しいとのことでの答えをいただいていたので、実際そこが、難しいところかなと。

安間教育長　ここら辺は、伊東先生、共々ずっとチャレンジしていたんですけれども、東京都でも出来なかったので、八王子だったら上手くいくかと思ったんですけれども、難しかったですね。でも、ぜひ御許可が得られる方に関しては、そんなけちけちしないで。しかも、10年に1度の改定の話ですから、そんな未来永劫、著作権が残るようなものではないわけだから、ぜひ、そこら辺の録画教材の充実を図ってもらいたい。

2点目は、先ほど校外での還元研修のお話を柴田委員からもありましたけれども、どうしても還元研修と言いかたをすると、大がかりなもので受けてきた講義と同じものを先生たちにしなければいけないような、そういうイメージを持たれるんだけど、ここはOJTですよ。そんな大それたことではなくて、机を近くしている先生方に対して、学んできたことをいかに返すかというOJTです。だから、そこに今度は熱を入れてもらいたい。

3点目は、教員のやりがいというのは、私は部活動にはなくて、私は教科研究だと思っておりますから、ぜひ、ここまで八王子市として、独自の研修体系を作ってきたならば、そこに研究機能というものをしっかりと入れるように今後検討してもらいたい。自分の教科のことをじっくりと年に何回か集まって研究するというのは、ものすごく良いことだと思いますよ。制度としてもそうだろうし、本人のやりがいにもつながるはずですから、そこら辺の環境整備をぜひ、考えてもらいたい。

最後、4点目は産休・育休取得代替教員と時間講師を対象とした研修をぜひ拡充をしてもらいたいんですけども、これは人を拡充してもらいたいんです。つまり、プラスアルファとして、今、現実に働いている産休・育休代替教員や、時間講師を超えてプラスアルファの人材、というのはどういうことかということ、昨年も都教委のほうで、教員を十分確保できずに、というような事態が起こりましたよね。八王

子市は学園都市だし、人材はいっぱいいるわけだから、その人たちを私たちだけで、育てていくということも、我々にはできるんじゃないかなと。とするならば、大学の3年生4年生で教員になりたいと思っている人たちにただで参加させてあげると、その際はぜひ研修項目の中に、特別支援の指導法を入れていただきたい。そういった人材を育成するという機能もぜひ、ここでもっていただきたい。そういった人材を育成するという機能もぜひここでもっていただきたい。そうすることによって、私たちが、物理的にも教職員課の方で、人事が足りない時に、そこを受講してくれた人たちにどうですかというお声掛けもできたりしますでしょう。4つ目はそのプラスアルファの門戸を開いてもらいたいという、そういう理由です。4点、要望します。

よろしゅうございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、本件も報告として、承りたいと思います。

安間教育長 続いて、こども科学館から報告をお願いします。

遠藤こども科学館長 それでは、本年6月10日から11月18日まで、3会場の計12回に渡って実施されました八王子「宇宙の学校」の実施結果について報告をさせていただきます。説明はこども科学館主査、小山より説明させていただきます。

小山こども科学館主査 それでは、平成30年度八王子「宇宙の学校」の実施結果について報告をさせていただきます。

まず、報告の趣旨でございます。平成30年6月から11月に市内3会場において、開校いたしました八王子「宇宙の学校」の実施結果についてご報告するものでございます。こちらの事業目的でございますが、小学校1年生から3年生と、その保護者を対象に、宇宙や科学をテーマにしたJAXAと協力して行う科学工作教室、スクーリングと家庭学習を通じて宇宙や科学に関する興味関心をさらに高め、理科好きの子どもたちを増やしていくきっかけとするためでございます。なお、平成30年度で第8回目を迎えました。主催につきましては、八王子宇宙の学校実行委員会でございます。また、実施団体として、認定NPO法人KU-MA「子ども・宇宙・未来の会」、協力としてJAXA宇宙教育センター、都立八王子北高等学校、

東京工科大学、創価大学、東京薬科大学。後援として、八王子「宇宙の学校」後援会、特別協賛として株式会社スリーボンドさんの協力を受けております。

次に内容でございます。スクーリングの内容につきましては、各回、ボランティアスタッフのサポートのもと、ホバークラフト等の科学工作を行う4回のスクーリング及び「科学や宇宙に親しむ内容の教材による家庭学習」で構成するプログラムとなっております。プログラム内容につきましては、教育センター会場、東京工科大学会場と、八王子北高等学校会場の3会場です。

スクーリングの内容でございます。2段書きになっておりますが、各会場の順番が違っただけでございます。スクーリングの内容については、同じ内容です。今回、昨年まではなかった第4回目の最終回に「宇宙の話」という外部から講師を呼んでのスクーリングを行いました。この宇宙の話につきましては、KU-MAから派遣された講師による講演を行い、教育センター会場では大川拓也氏、東京工科大学会場では清水幸男氏、都立八王子北高等学校会場では並木道義氏に講演をお願いいたしました。なお、講師の肩書きは以下のとおりでございます。

次に、ボランティアスタッフです。市内の大学との包括連携協定を生かし、学生の方に参加をしていただきました。また、東京八王子プロバスクラブのメンバーもサポートスタッフとして参加しております。各大学におけるボランティアスタッフの人数は創価大学、5名から15名、東京薬科大学、5名、東京工科大学、70名、都立八王子北高等学校の高校生が5名でございます。また、東京工科大学では、昨年度のボランティア経験者12名が、継続参加をしていただき、1年生の新たなボランティアとして、参加したスタッフの指導を行っております。

次に、実施結果でございます。延べ出席組数、出席率は下記の表の通りでございます。3会場定員206組で実施し、応募総数は267組、倍率は1.3倍ございました。また、全体出席率につきましては、87.9%となり、昨年度の85.3%を上回りました。また、最終回で行う家庭学習成果発表会の発表率でございますが、70.4%と昨年の60.7%を上回っております。

その他といたしまして、夏休み期間中はスクーリングがないものですから、8月14日、9月2日に「宇宙の学校通信」というものを発行いたしまして、各参加者に郵送いたしました。この中で9月以降の出席及び家庭学習成果発表に取り組む意

識を感じたところでございます。

最後になります、アンケート結果でございます。全体評価として、とても良かった、良かったを合わせた数値が97.3%となりました。各会場における評価につきましては、下記のとおりとなっております。また、アンケートに記載されている自由記入欄ですが、抜粋をさせていただいたものが、下記のほうに記載をさせていただいております。また、次の4ページ以降でございますが、こちらは、各会場におけるスクーリングの様子を画像、写真を撮っておりますので、そちらをまとめさせていただいたアルバムとなっておりますので、御覧いただければと思います。報告は以上でございます。

安間教育長 只今、報告は終わりました。本件について、御質疑はございませんか。

伊東委員 大変素晴らしい充実した取組で、こういったこともぜひ、継続的にやっていただきたいなという思いはあります。そこで、ちょっと御質問なんですけれども、こうした企画に関して、小学校の対象となっている子どもたち、小学校の八王子市内の理科研究部の先生とか、あるいは小学校長会なんかとの連携の状況はどうか、ちょっとお伺いしたい。

小山こども科学館主査 特に学校、市内小学校長、連携等は行っておりません。こども科学館独自の事業として開催をしております。

安間教育長 つながっていますよね、1年から3年までが、「宇宙の学校」で、小中学校の科学センターとつながっているんでしょう。それを伊東委員にお話してください。

小山こども科学館主査 小学校5年生につきまして、科学教育センターという形で、理科とか科学に興味がある子が参加しております。それが、毎年100名以上の子どもたちが参加していることはございます。教育長がおっしゃったという、そこはつながっているかということなんです。

上野統括指導主事 中村指導課長から小学校の科学教育センターに小学校6年生のお子様を対象にと各学校会と原則2名として募集を行っていて、小学校の場合は理科にコミットされる先生の御指導をいただいております。その前段としまして、この「宇宙の学校」というところで、興味関心を持っていただいたお子さんがこちらの方にお越しいただいているということはありますけれども、現時点でこちらの宇宙

の学校と科学教育センターという主体が違うところもありますが、実際は別なんですけれども、子どもたちの中ではつながりはあるのかなというふうには感じております。

伊東委員 ありがとうございます。突然、変な質問をしてしまって申し訳なかったんですけれども、要は理数教育の理科を含めて、理数教育の振興って、やはり、非常に重要な学校教育上の課題であり、日本全体の課題でもあると思うんですね。こうした素晴らしい取組を、やはり、学校教育との関連の中で展開していくほうが、効果的であるということと、そういう意味で学校においても小学生は理科好きなんですけれども、中学生になると非常に理科離れと言いまして、嫌いになっていってしまうような部分があるんですけれども、この辺りを学校の先生がお忙しいので、役割分担として教育委員会としてこういう取組をしているんだという考えもあるかもしれないけれども、やはり、学校教育の中でこういった取組があるということ子どもたちにPRしていくとか、こういった取組を踏まえて、学校の教育活動との関連を図っていくとか、せっかくやるのであれば、お互いの相乗効果になるような取組につなげていただけるほうが、八王子市教育委員会としての施策のまとまりが出てくるのではないかなというふうに思いますので、そういう意味でこういったものを、もう少し小学校の先生方との連携の中でやっていただくと、私はよろしいのではないかなという感じがしましたので、今後もしご検討いただければ幸いですということで、お話をさせていただきました。

上野統括指導主事 指導課でJAXAと連携をして理科教育推進事業というのをしております。JAXAの職員が小学校、または中学校のほうにお越しいただいて、理科を中心とした宇宙教育をしていただくという授業をしております。そういう形で、指導校としてもJAXAとの連携というところはございますので、今後その宇宙の学校ということも含めて、体系的に何かできるのかというのを模索していきたいなと考えております。

安間教育長 そういう御指摘だと思いますよ。

遠藤こども科学館長 宇宙の学校に参加できるのは、小学校3年生までということになっておりますので、実際、3年生が終わった後になにもないのかという質問もございます。今後は指導課の方と相談しまして、中学校では科学コンクールを毎年実

施していますので、ぜひ科学に関して引き続き興味を持っていただくために宇宙の学校でPRということもやっていきたいと思っております。

安間教育長　ありがとうございます。体系的なというお話で、ここで改めて1回見直す良い機会になるんじゃないかなと思いますから、ぜひ、冒頭にいったような横ぐしを刺していただいて、八王子の子どもたちの理科教育ですから、ぜひそこら辺の体系をまとめてみてください。

ほかにございましょうか。

柴田委員　とても充実した良い取組だと思えます。1点質問なんですが、応募者総数が、167組で倍率が1.3倍ということですが、やっぱり毎回こういうイベントごとでは欠席者が伴うものだと思うんですけども、ある程度欠席者数が見込まれた時点で繰り上げて、なるべく多く応募した方にこういう体験に参加できるような工夫というのは何かされているんでしょうか。

小山こども科学館主査　応募の段階で、会場希望を第2希望、第3希望まで聞いております。1番希望数の多いのが東京工科大学で、スクールバスの御協力もいただいておりますことから、足の便が良いということで、希望者数が毎回多く、もれてしまうお子様がいらっしゃいます。その際は、第2希望、第3希望のほうにまわっていただき、参加をお願いしているところでございます。

村松委員　意見になります。本当に御苦勞様でした。まずもって、各種団体の皆様、またスリーボンドの特別協賛、本当にありがたいことだと思っております。感謝しています。それで、今、柴田委員からも出ましたけれども、前回のスクーリングで、1回、2回、夏休みは極端に参加率が少なくなってしまうというのが、今回3回、4回と随分それが改善されていて、皆さんの努力の成果だと思っています。本当に御苦勞様でした。こちらの写真の方にも、教育長が満面の笑みで、修了証を渡してくださっていますけれども、これ本当に大事なことで、この間、小学校PTA連合会に出た時にこの話題が出たんです。それは、友達が家に遊びに行った時、この口ケットが家においてあったらしいんですね。友達が「これはなんなの」なんて聞いたら、こういうのがあって夏休みから参加したんだよと言って、僕も来年参加したいというのがあったそうなんです。やっぱり、そういう口コミですよ、友達だとかお母さん方がそういうのがあって、とっても楽しかったよという噂が広まるんで

すね。ですから、こういうふうには修了証まで一生懸命出ただけのような創意工夫努力をまたしていただければ、きっと、参加者がもっともっと増えていて、子どもたちにとって何かまた夢の取組ができると思いますので、その辺の口コミュニケーションなんていうのも色々考えていただければなというふうに思っています。以上です。

安間教育長 いいお話をお伺いしましたね。励みになりますね。

他にございましょうか。よろしゅうございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 それでは、本件ご報告として承らせていただきます。

安間教育長 続きまして、図書館部から報告をお願いします。

成田川口図書館長 それでは、平成30年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果について、御報告いたします。詳細は川口図書館主査、吉武から御報告申し上げます。

吉武川口図書館主査 平成30年度「読書感想画」・「読書感想文」各コンクールの実施結果について報告いたします。

お手元の資料をご覧ください。本コンクールにつきましては、読書による感動や印象を絵画や文章で表現することで、豊かな人間性を育み、読書習慣を身につけてもらうことを目的に、八王子市教育委員会、東京八王子西ロータリークラブの共催で行いました。

4、報告内容ですが、応募期間は平成30年8月23日から9月30日までとして、募集しました。応募作品数ですが、読書感想画コンクールは983点の応募がありました。また、読書感想文コンクールは4,345点の応募がありました。それぞれ、各部門の内訳は記載のとおりであります。

次に審査でございますが、読書感想画コンクールは11月20日に、読書感想文コンクールは11月27日に最終審査を実施いたしました。

裏面を御覧ください。中段の(5)になります。各コンクール受賞者については、別紙のとおりになります。なお、参考に感想文の入選作品集を配付しております。部数が少ないため、大変申し訳ございませんが、配付は教育長、教育委員、部長へ

の配付とさせていただきます。

戻りまして、(4)表彰式を1月24日、午後2時より開催予定でございます。場所は、八王子市学園都市センター12階、イベントホールで行います。また、読書感想画コンクール児童作品の展示ですが、こちらは海外友好交流都市の台湾高雄市の子どもたちの読書感想画と同時に展示いたします。12月11日から本日12日まで八王子駅南口総合事務所にて、平成31年1月23日から26日にかけて八王子学園都市センターの11階展示室で展示いたします。この際、感想文の受賞作品も一緒に展示を行う予定でございます。各コンクールの受賞作品は後日、市のホームページ及び作品集の冊子にて公開する予定であります。ウ、備考ですが、応募者全員に、近日、ロータリークラブが用意されます参加賞の図書カードを応募者全員に贈呈いたします。また、中学校の部の上位入賞者を海外友好交流都市である台湾高雄市に派遣する予定でございます。以上で報告を終わります。

安間教育長 只今、報告は終わりました。本件について、御質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 よろしゅうございますか。

それでは、受賞された皆さん方に心よりお祝いを申し上げたいというふうに思います。

これで、公開の審議は終わりますが、委員の方から何かございましょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

安間教育長 ないようであります。

それでは、ここで暫時休憩にいたします。なお、休憩後は非公開となりますので、傍聴の方は御退室をお願いいたします。再開は10時40分にさせていただきます。

【午前10時32分休憩】